

2025年3月26日

報道関係各位

harmo 株式会社
国立大学法人新潟大学

新潟大学と harmo、電子版お薬手帳を活用した共同研究を開始

医療現場における周術期薬剤管理の正確性・効率性を向上

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 中村 和男）のグループ会社である harmo 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 Co-CEO 山東 崇紀、内上 昌裕、以下：harmo）と国立大学法人新潟大学（新潟県新潟市西区、学長 牛木 辰男、以下：新潟大学）は、2025年3月10日に電子版お薬手帳を用いた共同研究（研究代表者：新潟大学医歯学総合病院臨床研究推進センター准教授 田中 基嗣、以下：本研究）に関する契約を締結したことをお知らせします。



写真左より、harmo：統括部長 島田 昌典、代表取締役 Co-CEO 内上 昌裕、／新潟大学医歯学総合病院：病院長 富田 善彦、准教授 田中 基嗣、／シミックヘルスケア・インスティテュート：執行役員 長谷川 智一

1. 研究の概要

本研究では、新潟大学医歯学総合病院において手術の前後（周術期）に休薬が必要な患者さんを対象に「harmo おくすり手帳」の休薬検索機能^{※1}を活用した周術期薬剤管理を行い、この機能が確実な休薬および医療安全の確保に寄与するかを検証します。

<休薬検索機能について>

「harmo おくすり手帳」の閲覧システムに新たに搭載された機能です。薬剤リストと電子版お薬手帳内の服薬情報を照合し、医療従事者が確認しやすい形で表示します。これにより、手術前後に休止すべき薬剤の確認が迅速かつ正確に行えるようになることが期待されます。

2. 研究の背景と社会的意義

近年、高齢者への手術適応の拡大等に伴い、急性期病院で手術を受けるハイリスク患者さんが増加しています。そのような患者さんの中には、安全を確保するために、周術期に休薬と再開が必要なお薬を使っている方も少なくありません。周術期の休薬と再開が確実に実施されない場合、周術期合併症や手術の延期に繋がる等のリスクが高まることから、医療現場における課題の一つとなっています。厚生労働省も質の高い周術期医療の提供を求めており、2022年度の診療報酬改定では「周術期の薬剤管理加算」が新設されました^{※2}。

このような課題の解決に向け、医療DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、PHR（パーソナルヘルスレコード：個人の健康情報）の活用が進められています。電子版お薬手帳は厚生労働省によりPHRシステムの一つに位置づけられ^{※3}、薬局や診療所、病院等において活用できる仕組みの構築が期待されています。

本研究により、休薬検索機能の導入が周術期薬剤管理の精度向上に役立つことを検証し、医療DXによる効率化と医療安全の確保を目指します。

3. 研究の着想

本研究は、新潟大学医歯学総合病院 Innovation Design Atelier（所在地：新潟県新潟市中央区、以下：I-DeA、読み方：アイデア）を起点とする初めての共同研究です。

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 松原 久雄）が I-DeA の会員企業であることがきっかけとなり、同じくシミックグループの harmo と I-DeA が協力し、本研究を実施することとなりました。

※1 PHR 情報を保存しわかりやすく表示することを目的としたもののため、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律で定める医療機器には該当しません。

※2 日本病院薬剤師会 周術期薬剤管理の進め方

<https://www.jshp.or.jp/activity/guideline/20230206-1-1.pdf>

※3 2023年3月31日改定「電子版お薬手帳ガイドライン」（薬生総発 0331 第1号）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001199653.pdf>

■新潟大学医歯学総合病院 Innovation Design Atelier (I-DeA) について

I-DeA は、新潟大学医歯学総合病院の法人向け会員制コワーキングスペースです。産学官それぞれの人と情報をつなげる「アクセスポイント」としてニーズとシーズをマッチングする「共創の場」を形成します。I-DeA を通じて生まれた共創プロジェクトは、隣接する新潟大学医歯学総合病院を実証の場として活用することで、実用化に向けた仮説検証プロセスを繰り返し、医療・ヘルスケア分野における社会実装を目指します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。<https://i-dea.niigata-u.ac.jp/>



■ harmo について

harmo 株式会社は、「harmo おくすり手帳」を基盤としたサービスを展開しています。「harmo おくすり手帳」は、個人やご家族が個々の医療・健康情報を活用可能にするスマホアプリケーションで、専用 IC カードを合わせ約 44 万人の利用者を擁し（2024 年 1 月現在）、全国 2 万軒以上の薬局で利用実績があります。また、川崎市・神戸市・豊中市・さいたま市・滋賀県等では、地域の薬剤師会と協業し、地域住民の健康増進に資する活動を展開しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.harmo.biz/>



■ シミックグループについて

シミック（CMIC）は、1992 年に日本で初めて CRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。製薬・バイオテクノロジー・医療機器等の海外企業の日本市場参入や、アジアでの臨床試験実施、米国と日本における医薬品開発および製造のサポート等も展開しています。また、シミックは個人や自治体を支援する新しいヘルスケアソリューションを提供しており、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する豊富な経験と実績を基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデル PHVC（“Personal Health Value Creator”）の展開を目指しています。シミックグループは、世界中に 7,500 人を超える従業員とグループ会社 28 社を擁しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.cmicgroup.com>



■ 報道関係者からのお問い合わせ先

- ・シミックホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部
E-mail: pr@cmic.co.jp
- ・新潟大学医歯学総合病院
I-DeA 事務局
E-mail: i-dea@nuh.niigata-u.ac.jp